

9. 産学官連携戦略展開事業／ 中国地域産学官連携コンソーシアム

9. 1 中国地域産学官連携コンソーシアム（さんさんコンソ）のご紹介

(1) 活動の概要

岡山大学と鳥取大学は、文部科学省「産学官連携戦略展開事業／戦略展開プログラム（特色ある優れた産学官連携活動）」の採択を受け、「中国地域産学官連携コンソーシアム（愛称：さんさんコンソ）事業」を平成20年度から平成24年度までの5年間にわたり実施しました。

これは、中国地域5県の国公私立大学や高等専門学校などの正会員（平成30年度28校：図1参照）が保有する技術シーズを、連携の強みを発揮して産業界へ紹介し、マッチングによる共同研究等を通じて実用化し、社会に貢献することを目的とする事業です。

文部科学省事業としての取組みは平成24年度末で終了しましたが、岡山大学と鳥取大学は共同で事務局機能を担って事業を継続することとし、平成25年度以降自立化事業として活動を継続しています。

事務局には平成30年度末までに約531件の企業相談（昨年度比28件増）が寄せられ、産学連携コーディネーター並びに各連携校コーディネーターの支援により133件の共同研究契約（昨年度比13件増）が成立しています。さんさんコンソ事務局では、企業のニーズを積極的に収集し、正会員各校のコーディネーターへニーズ情報を配信するとともに、産業界へ大学シーズ情報を判り易く発信する活動に注力しました。

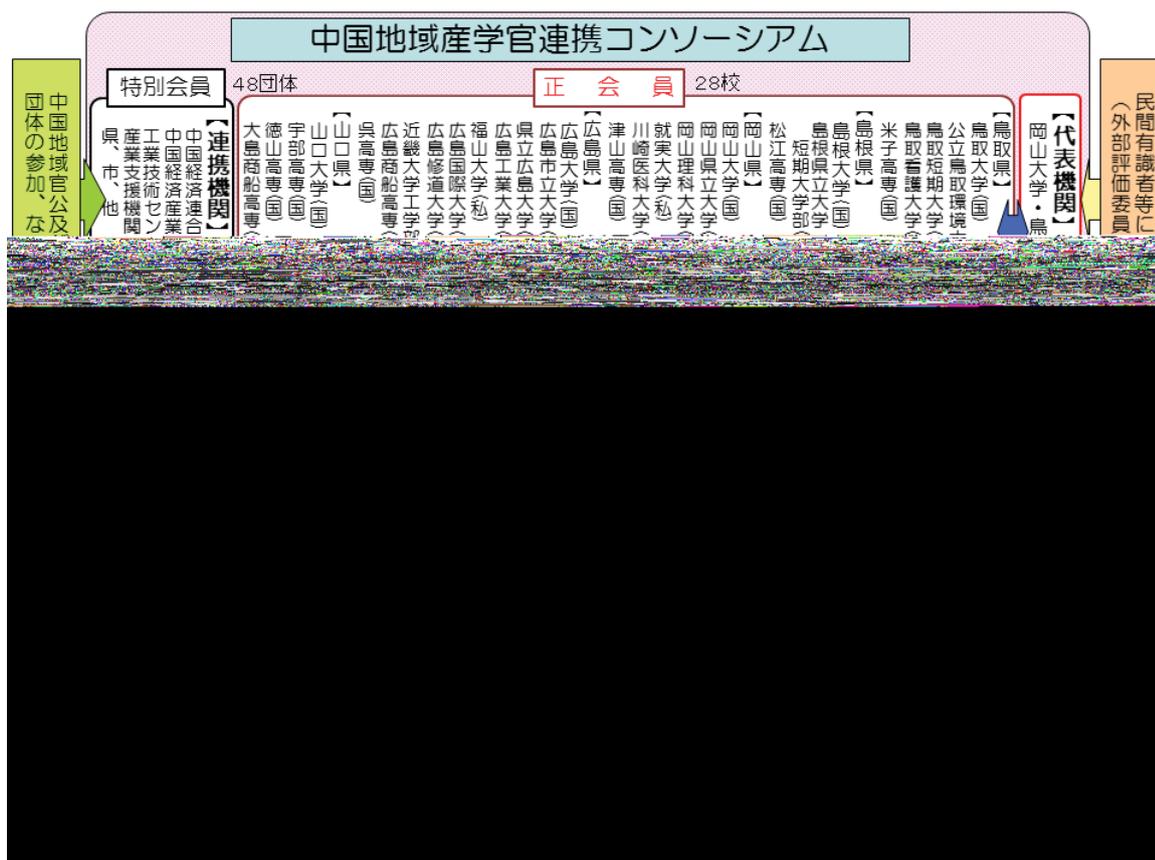


図1 中国地域産学官連携コンソーシアム事業 運営体制

(2) さんさんコンソの会勢

中国地域産学官連携コンソーシアム（以下、さんさんコンソ）事業は、平成20年11月に活動を開始し、現在は中国地域の大学・短期大学・高等専門学校による正会員28校と、行政機関、国公設研究機関、経済団体、産業支援機関、金融機関等の特別会員48機関が参加しています。

また、大学等の知的リソースの提供先である産業界については、平成29年度末時点で中国地方を中心に587社が企業会員として参加しています。

事業の推進拠点としては、代表機関である岡山大学と鳥取大学に事務局を設置し、岡山大学は事務局長ならびに産学官連携コーディネーター2名、システム運用管理者と事務局員の2名を配置し、鳥取大学は産学官連携コーディネーター1名、事務局員3名を配置しています。（なお、岡山大学の産学官連携コーディネーターは研究推進産学官連携機構・産学官連携本部のコーディネーター2名が兼務）

図2に正会員28校の所在地を示します。

また、参加企業589社の県別登録数内訳は、鳥取県73社、島根県10社、岡山県307社、広島県145社、山口県11社、中国地域以外では43社となっています。

「CPAS Net（シーパスネット）」へのログインに必要となるID発行数は1,561件（昨年1,556件）となりました。表1に平成30年3月時点の会勢とID発行数を示します。



図2 正会員28校の分布

表1 中国地域産学官連携コンソーシアムの会勢とID発行数（平成30年度）

| 会員種別 | 機関数 | CPAS Net ID発行数 |
|-------|-----------|----------------|
| 正会員 | 28 (28) | 848 (848) |
| 特別会員 | 48 (48) | 79 (76) |
| 参加企業等 | 589 (587) | 634 (632) |

※（ ）内は、平成30年度末時点での数値

9. 2 産学連携のマッチング

(1) 「さんさんコンソ新技術説明会」と「産からの学へのプレゼンテーション・地域版」を通じた産学連携のマッチング

1) 「さんさんコンソ新技術説明会」

さんさんコンソでは、各校の研究者の研究シーズを「中国地域大の連携」による集団のインパクトをもって全国へ発信するとともに、産業界のニーズに幅広く的確に答えて産学連携につなげる活動を展開しています。その一環として、平成 21 年度より、さんさんコンソ主催の『新技術説明会』を毎年開催しています。平成 30 年度においては、11 月 8 日に科学技術振興機構・東京別館ホール（東京都千代田区市ヶ谷）において、「情報・通信 新技術説明会」・「ライフサイエンス新技術説明会」の 2 分野で説明会を開催しました。

参加 8 校より 8 テーマの発表を行い、延べ 669 名の方々が聴講されました。各発表直後に設けられた個別相談コーナーでは、共同研究あるいは技術指導など合わせて 6 件の個別相談があり、コーディネートを継続しています。説明会の概要・プログラムを以下に示します。

【日 時】平成 30 年 11 月 8 日（木） 10：25～15：25

【場 所】科学技術振興機構 J S T 東京別館ホール（東京都千代田区市ヶ谷）

【主 催】中国地域産学官連携コンソーシアム（さんさんコンソ）

一般社団法人 中国経済連合会

国立研究開発法人 科学技術振興機構

【参加機関】鳥取大学、岡山大学、山口大学、岡山県立大学、広島市立大学、岡山理科大学、近畿大学

【参加者数】 195 名

【参加延べ人数】 669 名

【個別相談数】 6 件

【プログラム】

■情報・通信 新技術説明会 2018 年 11 月 8 日（木） 10:25～12:25

| | 発表者 | 発表タイトル |
|---|--------------------------------------|--------------------------------|
| 1 | 広島工業大学 情報学部 知的情報システム学科 教授 安部伸治 | 高齢者のためのコミュニケーション支援技術 |
| 2 | 島根大学 学術研究院理工学系 大学院自然科学研究科 教授 増田浩次 | 高分解能光パワーメータ |
| 3 | 岡山県立大学 情報工学部 人間情報工学科 助教 瀬島吉裕 | 瞳は口ほどにものをいう |
| 4 | 公立鳥取環境大学 環境学部 環境学科 准教授 重田祥範 | 健康づくりに向けた緑地の「癒し効果」を気象学的観点から検証！ |

■ ライフサイエンス 新技術説明会 2018年11月8日(木) 13:30～15:25

| | 発表者 | 発表タイトル |
|---|---|---|
| 1 | 川崎医科大学 医学部 微生物学 助教 内藤忠相 | インフルエンザウイルスの未来流行株予測 システムの開発 |
| 2 | 鳥取大学 医学部 保健学科 看護学専攻 教授 花木啓一 | 神経性食欲不振症発症リスク評価のための 自己身体イメージ測定ソフトウェア【思春 期やせ症の早期発見ツール】 |
| 3 | 岡山大学 大学院ヘルスシステム統合科学研 究科 バイオ・創薬部門 教授 世良貴史 | 人工核酸結合タンパク質のデザインとその 応用 |
| 4 | 山口大学 大学院創成科学研究科 化学・ ライフサイエンス系専攻 教授 赤田倫治 | DNAの大容量生産 |



【デモンストレーションの様子】



【会場の様子】

2) 「産から学へのプレゼンテーション in 広島」(「産プレ・地域版」) の開催 (企業ニーズの発信による大学シーズとのマッチング)

企業から大学等のプロデューサ・コーディネーターに向けて企業の課題・ニーズを説明してもらい、大学等の研究シーズとのマッチングを図り共同研究等につなぐ事業が JST により実施されています。(「産から学へのプレゼンテーション (通称：産プレ)」)

さんさんコンソでは、この「産プレ」を中国地域において開催する事業を JST との主催事業として、平成 25 年度から継続して実施しています。さんさんコンソの正会員校の研究者やコーディネーターのみならず全国の大学・研究機関等からの参加も募って、新たなマッチングの創出を目指します。

平成 25～27 年度及び平成 29 年度は岡山市で開催し、平成 28 年度は広島市で開催しました。平成 30 年度は、JST・(一社) 中国経済連合会・さんさんコンソの 3 機関による主催事業として広島市で実施し、4 社から企業ニーズを発表いただきました。当日は中国地域を中心に、大学等から延べ 151 名の参加者が集まりました。各発表直後に設けられた個別相談コーナーでは、共同研究あるいは技術指導など 9 件の個別相談があり、コーディネートを継続しています。

- 【日 時】平成31年2月8日（金）13：30～15：40
【場 所】広島ガーデンパレス（広島市）
【主 催】中国地域産学官連携コンソーシアム（さんさんコンソ）、
国立研究開発法人 科学技術振興機構、
一般社団法人中国経済連合会
【共 催】広島大学
【後 援】経済産業省中国経済産業局
【発表企業】4社



【会場の様子】



【名刺交換の様子】

（２）コーディネーター連絡網を介した企業ニーズ情報の照会とマッチング支援

さんさんコンソでは、加盟する大学等の産学官連携コーディネーター連絡網を整備し、企業等からの技術相談について、企業からの要望に応じて企業のニーズ情報をコーディネーター連絡網を通じて照会し、マッチングのきっかけとしていただく支援事業を実施しています。

（３）WEBマッチングツール（CPAS Net）を介した研究シーズの紹介

Web上で、さんさんコンソに加盟する大学等の研究シーズ情報を発信するCPAS Netを運用し、産学官連携コーディネーターによる個別企業へのシーズ詳細情報の紹介やマッチングのきっかけとしていただく支援サービスを実施しています。

大学等の研究シーズは、新たな研究活動により日々進化するため、平成26年度以降継続的に登録シーズデータを見直し、新規登録・更新・削除を行っています。（平成29年度末で3,070件の登録データ）

9. 3 企業向けメルマガの配信

さんさんコンソでは、正会員、特別会員、参加企業に対し、メールマガジン（さんさんコンソニュース：購読者約910名、通常号を月に1～2回程度、臨時号を随時）配信しています。

メールマガジンでは、さんさんコンソや連携機関が呼び掛けるイベントや知財セミナーの開催予定、正会員校が発表した研究成果情報（ホームページに掲示する新着情報の概要）、特別会員や政府系機関からの研究公募情報などを紹介しました。

9. 4 人材育成について

さんさんコンソでは、人材育成事業として知的財産教育、知財インターンシップを実施しました。平成 30 年度は、岡山大学で知財教育セミナー5 回を知財本部と合同で開催し（受講者数合計 178 名）、鳥取大学で教育セミナー2 回（受講者数合計 9 名）、インターンシップ実習（3 日間・参加者 1 名）の教育・研修サービスを実施しました。

また、平成 30 年度においても 26～29 年度に引き続き岡山大学で実施する知財教育セミナーを正会員校会場に Web で同時中継しました。



【会場の様子（岡山大学）】



【会場の様子（鳥取大学）】